

## 国公立大環境系 3 大学連携 第 5 回福岡工業大学・長崎大学 ビオトープサークル交流会を開催！



福工大から 16 名、長崎大から 10 名が参加した交流会。観覧会終了後、新宮町人丸公園ビオトープを背景に記念撮影。

「大学ビオトープ研究交流会」は、長崎大学、熊本県立大学、福岡工業大学による環境系 3 大学連携事業の一環として、長崎大学「ビオトープパレット」と福岡工業大学「ビオトープ研究会」の教員、学生が毎年持ち回りで開催しています。近隣大学におけるビオトープ研究活動において大学間連携交流はこれまでに例がなく、「**ビオトープ研究会**」を主宰する社会環境学部の坂井宏光教授は、「長崎大学との連携交流を機会に、今後一層、環境教育の一環として、人材育成や教育研究などでの有機的な大学連携を推進していきたい。」と抱負を語ってくださいました。猛暑による炎天下の中、8 月 9 日（火）に福工大で開催された交流活動の様子を下記にダイジェストでご紹介します。（大学・地域連携推進室）



交流会はお互いの活動報告からスタート（左）。福工大里山ビオトープ（中）、新宮町人丸公園ビオトープ（右）での自然観察会の様子。

福工大チームの活動報告の様子（左）。観覧会では希少生物の生息についても確認します（中）。交流会終了後、間准教授を囲んで談笑する長崎大学生（右）。



この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-130  
 8月31日～9月14日